

NEWS

職長安全衛生教育・研修開催

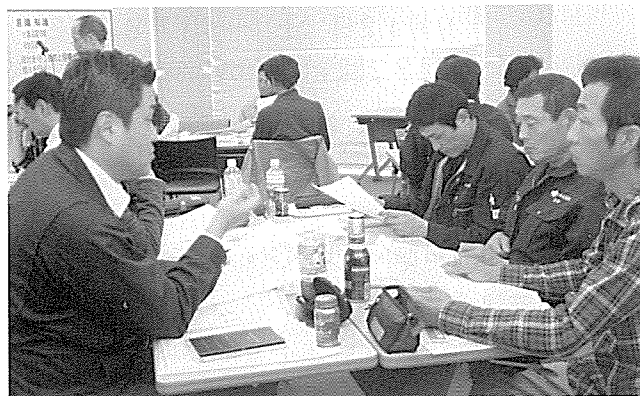
安全衛生委員会(加山昌弘委員長)は10月21日(水)・22日(木)の2日間、午前9時30分からウイールあいち・愛知県女性総合センター(名古屋市東区)において、17社21名の参加者のもと、「職長安全衛生教育・研修」が開催されました。

講師として(株)辻安全サービスセンター 辻 宏夫氏を招き、職長として留意すべき事項等、作業中における効果的な監督や指示の方法について、実例を交え研修会が行われました。

開会にあたり加山委員長から「自分の命を守る、仲間の命を守る、ひいては廃棄物業界の全体の事故の減少につながります。この業界は他の業種に比べ事故率が高いため、研修にてしっかり内容を習得し、職長として安全への指導をお願いします。」と挨拶がありました。

協会の安藤専務理事は「研修の目的は、業務における安全な作業の実践についてですが、職長として部下の安全の確保も重要です。また労働衛生上、重大な過失の場合(禁固刑以上の刑)は業の取り消しになることがあります。業務上の事故は、ご自身、家族、仲間、会社まで様々な影響が及びますので、研修でしっかり学んでください。」と述べました。

初日の研修では、最近の労働災害について掲載された新聞記事をもとに、安全について様々な角度からお話があり、その後協会の環境アドバイザー 相宮良一氏より、電子マニフェストについて概要及び操作について説明がありました。午後からはグループ(5~6名)に別れ、自己紹介、名刺交換後、安全施工サイクルの仕組みや作業中における効果的な監



督及び指示の仕方について、ディスカッションが行われました。

2日目は、現地KYの取組、リスクアセスメント、効果的な指導及び教育の進め方、災害発生時における措置他、講師の長年の経験による講話と、映像によるケーススタディを組み合わせた研修が行われました。

研修終了後、辻講師より修了証が手渡されました。

■研修参加者の感想

- ・自分自身が習得した内容を各現場従事者に理解・運用することの難しさを痛感した。
- ・職長としての責任感を持つようになる。
- ・自分、仲間、会社を守るという意識を持って、今後取組んでいく。
- ・今まで無意識だったことに意識を向ける姿勢が身に付いた。
- ・研修を通して、参加者の方々も職場で同じような悩みを抱えていることを知った。
- ・管理職である側として、意識を持つ大切さを感じた。
- ・研修内容を自社へ置き換え全体ミーティングで検討してみたい。
- ・マニュアル中心だけではなく、自分がどのように動き、考えるのかを知った。



加山安全衛生委員長



安藤専務理事



講師の(株)辻安全サービスセンター 辻氏